

## 学校法人同志社 女性活躍支援 行動計画

学校法人同志社は、女性教職員が活躍できる雇用環境を整備するため、以下の行動計画を策定する。

1. 計画期間 2020年4月1日～2025年3月31日までの5年間

2. 本学の課題

子育て中の女性教職員がより働きやすくなるよう、職場環境を整備する。  
職業生活と家庭生活の両立支援に係る各種制度の周知徹底が不十分である。

育児休業から復帰した時間制約のある女性が、季節による業務量の繁閑差等により、元の業務遂行や本来の役割を果たしにくい場合がある。

育児休業の取得状況に男女差があり、男性のワークライフバランスが進んでいない。

3. 定量的目標

管理職に占める女性労働者の割合を教育、学習支援業の平均値（18.1%）以上を目指す。  
時間外労働の削減：毎月の平均所定外労働時間 30 時間未満を維持する。

4. 取組内容

管理職に占める女性労働者の割合を教育、学習支援業の平均値（18.1%）以上を目指す。

- 2020年4月～ 利用可能な両立支援制度のまとめ、効果的な周知方法の検討。
- 2021年4月～ 利用可能な両立支援制度の周知と管理職研修の充実。
- 2023年4月～ 女性の管理職への登用範囲拡大。

時間外労働の削減：毎月の平均所定外労働時間 30 時間未満を維持する。

- 2020年4月～ 法人から各学校へ、取り組み方針を通知。  
各職場の現状分析および業務削減に向けた取り組みの検討。
- 2021年4月～ 上記検討を踏まえ、各職場での取り組みを実施。
- 2022年4月～ 取り組み状況、効果のチェック、改善指導等。